

中小企業従業員退職金等

共済制度について

制度の概要

中小企業従業員退職金等共済制度は、昭和46年4月に田無市で施行されました。

制度の趣旨は、退職金制度を持つことが困難な中小企業でも、大企業と同じような退職金を支払えることで、従業員の雇用促進と定着性の向上をねらいとしています。企業が安定した労働力を確保することによって、より一層企業の繁栄を図ることを目的とした相互扶助の制度です。

被共済者として1年以上掛金を納付した方が退職すると、基準により退職金が支給されます。

また、中小企業の範囲を超えた場合、被共済者が事業主または法人の役員になった場合等にも、解約一時金として退職一時金相当額の手当金が支払われます。

このほかに、福祉共済事業と福利厚生事業がありました。この2つの事業は、現在、勤労者福祉サービスセンターに移行し、実施しています。

制度の経過

この制度は、昭和46年4月に掛金1口千円で4口を限度としスタートしましたが、昭和52年には、加入限度を10口に増やしました。さらに、制度の独立性を確立するために、昭和53年に市からの補助金を停止し、昭和54年に特別会計を設置して基金の運用を始めました。また当時の景気

表1 30年後の1口あたりの掛金総額と給付額の計算例(単位:円)

改定年	掛金総額	給付額	運用利率	給付水準
昭和46年改定	360,000	1,527,800	基金運用なし	約7.1%
昭和49年改定	360,000	1,632,000		約7.5%
昭和56年改定	360,000	1,650,000	7.6%	約7.6%
平成12年改定	432,000	503,980	0.2%	約0.1%

この改正では、1口あたりの掛金を千円から千200円に引き上げ、市は1口あたり100円の補助金を再開することとし、新規の加入・増口については、停止することになりました。

表2 年間収支と基金残高 (単位:円)

年度	人数	収入額	支出額	年間収支	基金残高
平成3年度	823	79,110,000	43,599,290	35,510,710	441,190,000
平成6年度	758	59,999,000	72,550,850	12,551,850	419,337,000
平成9年度	748	55,741,000	81,628,790	25,887,790	359,687,000
平成12年度	602	54,587,377	96,947,820	42,360,443	206,570,000

この制度は特別会計で運営されていますが、前項で述べましたとおり、制度改正後も引き続き、その財政運営は極めて厳しい状況です(表2参照)。

制度の財政状況

また、退職一時金を引き下げましたが、改正までの加入期間については、改正前の給付水準で計算され、新しい給付水準は、それ以降の加入期間について適用されます。

構成	氏名	性別	住所
学識経験者	むらやま けんじ 村山 健司	男	緑町
	さいとう ひでひこ 斉藤 英彦	男	田無町
	なりさわ しげる 成澤 茂	男	府中市
共済契約者	いわさき けん 岩崎 謙	男	新町
	なみき しげお 並木 茂雄	男	西原町
被共済者	うらの としかず 浦野 利一	男	田無町
	とよだ たかお 豊田 孝夫	男	芝久保町
商工会代表者	いしい けんすけ 石井 健介	男	田無町
	こにし しょう 小西 嗣朗	男	田無町
商工会事務局	たかいち よしお 高市 義雄	男	南町

任期：10月1日から2年間

とき 10月25日(木) 午前10時から
ところ 田無庁舎議会議棟4階第1委員会室

この制度の今後の在り方等について、各分野において、より専門的な知識がある方々にお集まりいただき、今まで述べてきたこの制度の現状を再検討し、今後の方向性などを審議していただくために市長の諮問により、数回にわたる運営審議会を開きます。

中小企業従業員退職金等共済運営審議会の開催

表3 全員が一時期に退職すると仮定した場合(平成13年8月末現在)

人数	561人
現在基金残高	175,270,000円
退職金の試算総額	957,242,083円
不足額	781,972,083円

基金残高は表3のとおり、平成13年8月末現在で約1億7千万円ですが、仮に今すべての加入者が退職しますと、約9億5千万円の不足となり、約7億8千万円の不足を生じることになります。これは平成12年改正時の不足額とほぼ同じくらいの規模です。

審議会等開催情報

10月後半に開催される審議会等についてお知らせします。会議の日程・議題等は、変更となる場合がありますので、傍聴を希望する方は、あらかじめ担当課へお問い合わせください。会議開催予定は、市報のほか、西東京市ホームページ、両庁舎入口の掲示板でお知らせしています。 広報広聴課(☎☎内線1141)

会議名	とき	ところ	議題	傍聴人数	担当課(内線)
社会教育委員の会議	10月16日(火) 午後3時~5時	保谷庁舎3階教育委員会会議室	完全学校週5日制について	10人	社会教育課(2711)
行財政改革推進委員会	10月16日・23日・30日(火) 午前9時30分~正午	田無庁舎3階庁議室	健全な財政運営、事務事業の見直し	5人	企画課(1120)
廃棄物減量等推進審議会	10月17日(水) 保谷庁舎6階防災センター講座室、31日(水) 保谷庁舎4階A・B会議室 午後2時~4時		ごみ・資源収集方法の統一について	5人	ごみ減量推進課(2220)
まちづくり市民会議	10月17日(水) 保谷庁舎6階防災センター講座室(部会合同) 30日(火) 田無庁舎2階202・203会議室(市民部会) 午後7時~9時		協定書の締結、条例案の作成	10人	企画課(1111) 環境保全課(2202)
(仮称)合併記念公園整備懇談会	10月18日・25日(木) 午後6時30分~9時	イングビル3階 田無庁舎隣り 第3・第4会議室	合併記念公園整備施設の検討	10人	公園緑地課(2432)
男女平等参画推進情報誌編集委員会	10月21日(日) 午前10時から、26日(金) 31日(水) 午後7時から	イングビル3階(田無庁舎隣り) 第3会議室	紙面の割り付け、取材記事の検討	制限なし	生活文化課(1420)
青少年問題協議会	10月22日(月) 午後2時~4時	イングビル3階(田無庁舎隣り) 第3会議室	委員の委嘱、会議の運営方法	5人	子育て支援課(1521)
教育委員会	10月23日(火) 午後2時30分から	スポーツセンター会議室	未定	10人	教育庶務課(2611)
子ども福祉審議会	10月25日(木) 午後1時15分~3時	田無庁舎5階503会議室	市民意識調査項目の検討	10人	子育て支援課(1521)
総合計画策定審議会	10月25日(木) 午後1時30分~3時	市内	タウンウォッチング	不可	企画課(1122)
図書館協議会	10月25日(木) 午後3時~5時	田無公民館3階会議室	委員の自主活動事業について	10人	中央図書館(1671)
介護保険運営協議会	10月26日(金) 午後1時~3時	田無庁舎議会議棟4階第3委員会室	各種調査について	15人	介護保険課(2322)
都市計画審議会	10月30日(火) 午前10時から	田無庁舎議会議棟4階第1委員会室	保谷都市計画高度地区の変更	10人	都市計画課(2411)

審議会のご案内

廃棄物減量等推進審議会

廃棄物の減量とリサイクル推進を図るべく施策のあり方として提言をいただくため、西東京市廃棄物減量等推進審議会が設置されました。

今回は、合併に伴うごみ収集方法の統一や一般廃棄物処理基本計画の策定、(仮称)リサイクルプラザ構想に伴う施設内容等について、審議するものです。

ごみ減量推進課(☎☎内線2224)

選出区分	氏名	性別	住所	選出区分	氏名	性別	住所
学識経験	いけだ ひであき 池田 秀昭	男	住吉町	市民公募	すずき としお 鈴木 稔夫	男	住吉町
	すぎやま りょうこ 杉山 涼子	女	千代田区		たかさき みつなり 高崎 三成	男	田無町
	たきざわ しげこ 瀧澤 滋子	女	谷戸町		むらた こうぞう 村田 幸三	男	新町
	すだ のりえ 須田 紀恵	女	南町		ほそい くにお 細井 邦夫	男	芝久保町
	しのばら みち子 篠原 美智子	女	泉町		ながい さだお ○永井 貞夫	男	ひばりが丘
	ほりこし みつえ 堀越 美津江	女	富士町		いそじま とういち 五十島 統一	男	西原町
こんの たけろう 紺野 武郎	男	東村山市	いしわたりと まゆみ 石渡戸 真由美	女	新町		
えのもと じゅんいち 榎本 淳一	男	泉町	...会長 ○...副会長				

任期：9月26日から2年間

担当課番号案内の☎(☎)の表記は ☎...田無庁舎(南町5~6~13) ☎...保谷庁舎(中町1~5~1)を表します